

## 第 122 回 開校記念式典 校長挨拶

本日、静岡大成中学校・静岡大成高等学校、第 122 回開校記念式典を挙行できますことを大変嬉しく思います。

先日、静岡精華・静岡大成 同窓会 東京支部会に出席させていただきました。同窓会東京支部は昭和 12 年に発足し、高校卒業後に東京の大学へ進学されたり、東京で就職された方々を中心に、代々受け継がれている伝統ある同窓会支部です。同窓生の中学・高校時代の思い出を聞かせていただくとともに、私からは現在の本校の様子について話をいたしました。同窓生の皆さまが口を揃えておっしゃっていたことは、「中学や高校時代に出会った友人や先生方のおかげで今の自分がある。また、校名は変わってしまったけれど大成の生徒さんの活躍を楽しみにしています。」ということでした。青春時代を本校で過ごせたことの喜びと母校に対する愛情を強く感じることでできた時間でした。

さて、理事長からは「精華の 100 年」を中心にお話をいただきましたので、私からは大成になってからの 22 年間の振り返りをさせていただきます。

2003 年 学校創立 100 周年記念式典を盛大に挙行了しました。

2004 年 この年から静岡大成中学校・高等学校に校名変更し、新入生から男女共学となりました。現在の高校校舎もこの年に完成しました。校舎の設計は本校の卒業生である長谷川逸子氏にお願いをしました。長谷川さんは世界的に有名な建築家で、校舎が建てられてから 20 年以上たった今でも、若い建築家の方々が校舎の見学に来られています。

皆さんは高校校舎にはさまざまな大きさの窓がついていることに気づいていますか？これは生徒一人ひとりの個性を表しています。駿府城の石垣をイメージしてみてください。さまざまな形状の石を積み重ねることでその強度を保っているように、本校も多様性の尊重により結束力を高めることができていると思います。

2006 年 それまで歌われていた校歌を学園歌とし、阿木耀子さん作詞/宇崎竜童さん作曲による新しい校歌を発表しました。なお、この阿木耀子さんと宇崎竜童さんは何百曲ものヒット曲を世に発表されている音楽家です。

在校生の皆さんには、そのお二人が作られた楽曲を歌えることの喜びや誇りを感じながら、校歌を歌ってもらえたら嬉しいです。

2012 年 中学校舎が完成しました。校舎の設計は高校校舎と同様に長谷川逸子氏にお願いをしました。近代的な外壁面とは対照的に、内装には木材を多く利用することで暖かみを感じられる校舎となっています。

そして、今年は大成になって 22 年目となります。この間に東日本大震災や台風被害 新型インフルエンザやコロナウイルスの流行といったさまざまな災害がありました。それらの苦難を当時在籍していた生徒や保護者の皆さま、教職員や地域の方々のご尽力により乗り越えることができました。

今は先行き不透明な時代と言われていますが、学校の新しい歴史は生徒の皆さんが創っていくものだと考えます。そして、その新しい学校づくりがより良い社会づくりへとつながっていくと信じています。

ぜひ、自己実現と社会貢献を達成すべく、皆で力を合わせ頑張っていきましょう。

令和 7 年 5 月 23 日  
校長 堀 泰之